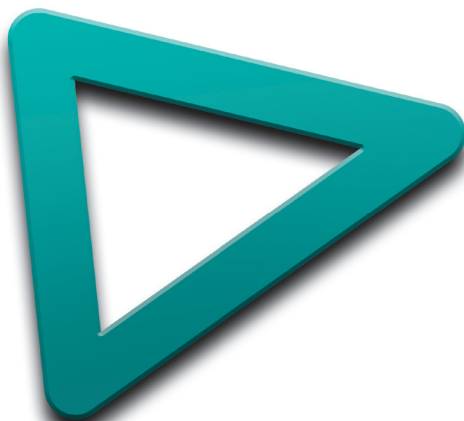


EDIUS 4.6 補足マニュアル




EDIUS Pro **4**
version
EDIUS Neo



F095801241

ご注意

- (1) 本製品の全部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS / カノープス、EDIUS / エディウス、ProCoder およびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) HDV はソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- (9) Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (10) QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- (11) Inscriber は Inscriber Technology Corporation の登録商標です。TitleMotion および Inscriber ロゴは Inscriber Technology Corporation の登録商標です。
- (12) Adobe、Adobe Reader はアドビシステム社の登録商標です。
- (13)  Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- (14) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書は、EDIUS Pro version 4.5 と EDIUS Neo の共通リファレンスマニュアルからの差分のみを記載しています。本文の詳細については、EDIUS Pro version 4.5 と EDIUS Neo の共通リファレンスマニュアルを参照してください。本文中の内容や画面は、EDIUS Pro version 4.6 を基に説明しています。
- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。
- 本書では、EDIUS Pro version 4.6、EDIUS Neo や EDIUS シリーズを「EDIUS」と表記します。
- 本書では、Microsoft®Windows®XP Professional operating system を Windows XP と表記します。

警告

健康上の注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光や刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像／音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画にかかわらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は一切負いかねますのでご注意ください。

目次

1 マニュアルについて

本マニュアルの見かた	2
------------------	---

2 追加機能

追加機能一覧	3
アプリケーション設定	4
プラグイン設定	7
DV 機器 (Generic OHCI) へ出力	8

1

マニュアルについて

本マニュアルの見かた

本書は、EDIUS Pro version 4.6 及び EDIUS Neo version 1.1 に追加された機能を中心に、変更された機能などを補足説明するマニュアルです。

EDIUS リファレンスマニュアル（EDIUS Pro version 4.5 及び EDIUS Neo version 1.0 の機能説明）の記述内容から、新たに追加された機能（NEW）、変更された機能（Update）について、次の表記を使用しています。

NEW : 新機能

Update : 変更になった機能

2

追加機能

追加機能一覧

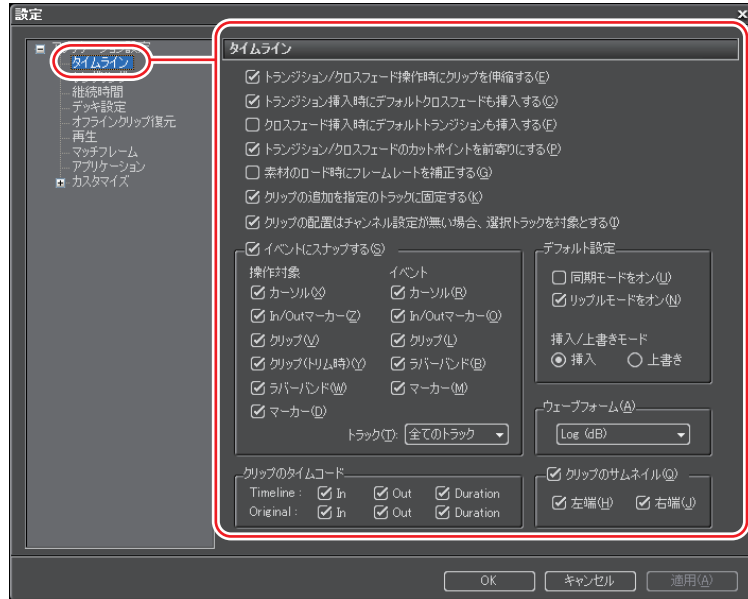
EDIUS Pro version 4.6 及びEDIUS Neo version 1.1の追加機能は次のとおりです。

- アプリケーション設定の〈タイムライン〉に1点設定項目が追加されました。
タイムライン▶ P4
- アプリケーション設定の〈継続時間〉に2点設定項目が追加されました。
継続時間▶ P6
- プラグイン設定に〈AVCHD インポータ〉が追加されました。
AVCHD インポータ▶ P7
- DV 機器 (Generic OHCI) へ出力するときに、テープの書き込み開始位置の指定が可能になりました。
DV 機器 (Generic OHCI) へ出力▶ P8
- MPEG Long GOP 素材に対してコンソリデートが可能になりました。(Pro版のみ)
- 次の出力デバイス「Generic OHCI HD 24Hz」の出力フォーマットが追加されました。
1920x1080 23.98p
-コーデック : Canopus HQ
-用途 : AVCHD, AVC-Intra100
- 次のキーボードショートカットが追加されました。
シーケンスの切り替え [Ctrl] + [Tab] ➔ 次のシーケンスに切り替え [Ctrl] + [Tab]
[Ctrl] + [Tab] ➔ 前のシーケンスに切り替え [Shift] + [Ctrl] + [Tab]

アプリケーション設定

POINT ・ アプリケーション設定の詳細については、リファレンスマニュアルの「アプリケーション設定」を参照してください。

◇ タイムライン



トランジション／クロスフェード操作時にクリップを伸縮する

クリップトランジション／オーディオクロスフェードをタイムライン上のクリップに設定した場合、前後のクリップがそれぞれ伸びて重なります。全体の長さは変わりません。

トランジション挿入時にデフォルトクロスフェードも挿入する

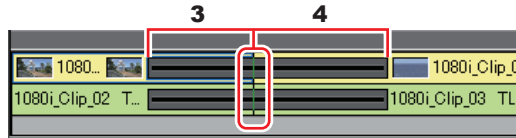
VAトラック上でビデオクリップにトランジションを設定した場合、同じ位置のオーディオクリップにも同じ長さのデフォルトのオーディオクロスフェードが同時に追加されます。

クロスフェード挿入時にデフォルトトランジションも挿入する

VAトラック上でオーディオクリップにクロスフェードを設定した場合、同じ位置のビデオクリップにも同じ長さのデフォルトのトランジションが同時に追加されます。

トランジション／クロスフェードのカットポイントを前寄りにする

クリップトランジションやオーディオクロスフェードのカットポイントを前寄りに設定します。例えば7フレーム分のトランジションを設定した場合、3フレームと4フレームの間にカットポイント（緑のライン）が設定されます。



素材のロード時にフレームレートを補正する

クリップをピン（またはタイムライン）に読み込むときに、自動的にクリップのフレームレートを補正します。再生時にフレームレート変換処理を行う必要がなくなるため、再生動作が軽くなります。フレームレートの補正は、プロジェクトとクリップが次の組み合わせである場合のみ行われます。

29.97 : 30.00

59.94 : 60.00

23.976 : 24.00

クリップの追加を指定のトラックに固定する

ビデオチャンネル、オーディオチャンネルを設定したトラックにクリップを振り分けます。チェックをはずすと選択トラックと、VトラックまたはAトラックから見た相対位置にクリップを振り分けます。

NEW

クリップの配置はチャンネル設定が無い場合、選択トラックを対象とする

トラックにチャンネルが設定されていない場合、現在選んでいるトラックにクリップが配置されます。MKB-88 for EDIUSをご使用の場合、チェックをはずしてください。

イベントにスナップする

スナップ機能を有効にします。

操作対象：スナップを行う操作対象を選びます。

イベント：スナップ先として表示されるイベントを選びます。

トラック：イベントの有効範囲を選びます。

デフォルト設定

プロジェクトファイルを新規作成するときの編集モードのデフォルト設定を変更できます。

ウェーブフォーム

タイムラインのウェーブフォーム（波形）の表示方法を、〈Log (dB)〉または〈Linear (%)〉のどちらかに設定します。

クリップのタイムコード

チェックを入れたタイムコードをクリップに表示します。

クリップのサムネイル

タイムライン上にあるクリップの端に In 点、Out 点のサムネイルを表示します。表示させない場合はチェックをはずします。

[Alt] + [H]

◆ 継続時間



静止画

静止画クリップ配置時のデフォルトの継続時間を設定します。

NEW In/Out 間に追加する

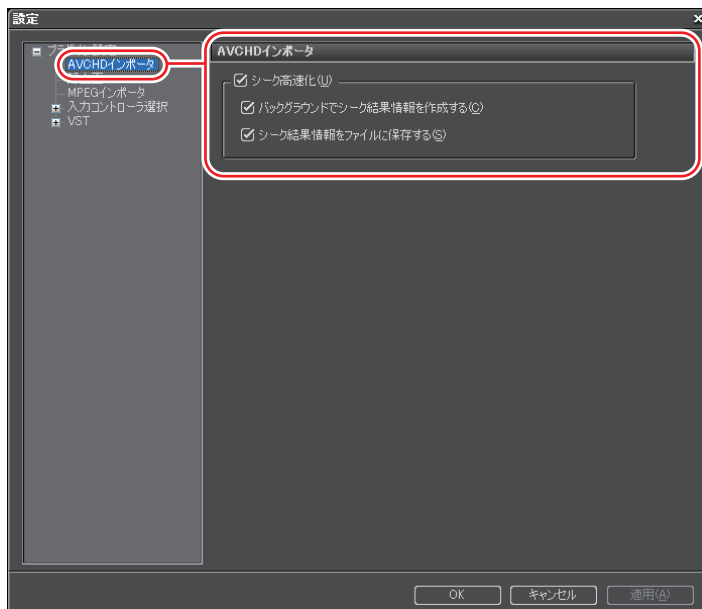
チェックを入れると、タイムラインの In-Out 点間に静止画クリップを配置します。

<p>タイトル</p>	<p>タイトルクリップ配置時のデフォルトの継続時間を設定します。</p> <p>タイトル挿入時に、自動でタイトルミキサーを追加する チェックを入れると、タイトルをトラックに配置したとき、デフォルトのタイトルミキサーが自動的に適用されます。</p> <p>NEW In/Out 間に追加する チェックを入れると、タイムラインの In-Out 点間にタイトルクリップを配置します。</p>
<p>V-ミュート</p>	<p>V ミュートのデフォルトの継続時間を設定します。V ミュートとは、フレーム単位で音声を消去する機能で、小さな音声ノイズを削除するのに最適です。</p>

プラグイン設定

- POINT** • プラグイン設定の詳細については、リファレンスマニュアルの「プラグイン設定」を参照してください。

NEW ◆ AVCHD インポート



シーク高速化

AVCHD ファイルのシークを高速化する処理を行います。高速化を行うにはまずこの項目にチェックを入れ、下記の項目に必要な応じてチェックを入れます。

バックグラウンドでシーク結果情報を作成する

アイドル時に AVCHD ファイルのタイムスタンプ情報を収集し、シークを高速化します。

シーク結果情報をファイルに保存する

シーク結果情報を再利用可能なファイルとして保存します。

DV 機器 (Generic OHCI) へ出力

1 DV ケーブルで、PC の IEEE1394 端子と DV 機器を接続する

DV 機器は、ビデオモード (PLAY/EDIT など) にしておきます。

2 メニューバーの〈設定〉をクリックし、〈プロジェクト設定〉をクリックする

3 [現在の設定を変更] をクリックする

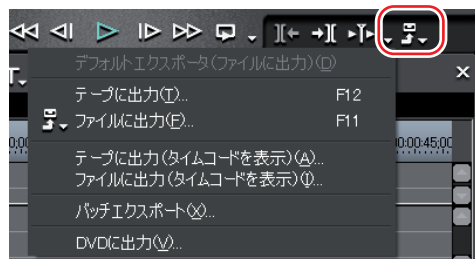
〈プロジェクト設定〉 (詳細設定) ダイアログが表示されます。

4 〈出力デバイス〉で〈Generic OHCI SD NTSC〉をクリックし、出力フォーマットを選ぶ

5 [OK] をクリックする

DV 機器が認識され、Recorder の操作ボタンで DV 機器を操作できるようになります。

6 Recorder の [出力] をクリックする



7 〈テープに出力〉、または〈テープに出力（タイムコードを表示）〉をクリックする

その他の方法

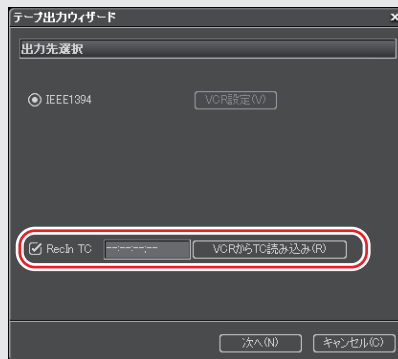
- メニューバーの〈ファイル〉をクリックし、〈書き出し〉→〈テープに出力〉または〈テープに出力（タイムコードを表示）〉をクリックします。
- テープに出力：[F12]

8 [次へ] をクリックする

Update

POINT

- テープの書き込み開始位置を指定する場合は、〈RecIn TC〉にチェックを入れ、タイムコードを入力します。[VCRからTC読み込み]をクリックすると、テープから現在のタイムコードを読み込むことができます。



9 内容を確認し、[出力] をクリックする

タイムラインの再生と出力を開始します。

最後まで出力すると〈テープ出力〉ダイアログが閉じます。

POINT

- 出力を中断するときは、[中止] をクリックしてください。
- タイムラインに In 点、Out 点の設定をしている場合は、その範囲を出力します。